NIE実践報告

1．タイトル：☆「生きた教材」新聞活用の実践

2．学校名

北海道網走市立白鳥台小学校

3．実践者名（代表者名）

菅原巧

4．学年

第5・6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間（みのり学習）

6．単元（本時の学習課題）名

「新聞に親しもう！読もう！感じよう！」

7．目標(狙い)

朝の会で「気になった新聞記事」の取り組みを継続的に行うことで、新聞に対し親しみをもち、感じたことを発表することができる。

8．評価の視点

気になった新聞記事をファイルに蓄積し、自分が感じたことを書き表すことができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

①新聞に親しもう！（2時間）　②新聞を読もう！（朝の会）　③新聞を感じよう！（2時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①新聞に親しもう！（2時間）
新聞記事の中から、一つひとつの文字を切り取り、怪文書風に自分の名前を完成させる。
②新聞を読もう！（朝の会）
毎日の新聞記事の中から、気になった記事をファイルに蓄積していく。
気になった記事を学級のみんなに伝える。
③新聞を感じよう！（2時間）
気になった記事の中から、自分が感じたことを書き表す。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・毎朝、教室に入るとその日の新聞（朝刊）があり、自然と見るようになっていった。
・楽しみながら新聞を読むようになった。
・毎日、見出しだけでも見るようになった。

12．成果と課題

今回の実践を通して、新聞は子どもたちにとって「テレビ番組を調べる・4コママンガを見る」ものから「学習に役立つもの・情報を得るもの」に変わりつつある。また、新聞を活用することにより、子どもたちの学習に対する興味・関心が高まってきた。
今後は、新聞を各教科等に意図的に関連付けた活用方法を考え、子どもたちにどんな力をつけさせたいのかを明確に位置付けた学習に取り組む必要がある。